



# JARA NEWS

JAPAN AUTOMOBILE RECYCLE NETWORK NEWS

Vol.85 MARCH 2015 <http://www.jara.co.jp>

Published by JARA Corporation  
Tokyo Head Office: Shinwa Bldg. 1-2-2-7F  
Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo, JAPAN 103-0027  
Phone: +81 3 3548 3010 / Fax: +81 3 3231 4690



## BEST新年合同 祝賀会を開催

自動車リサイクル部品流通4団体で構成するBESTリサイクラーズアライアンスは1月28日、都内の会場で新年合同祝賀会を開催した。同アライアンスは加盟団体での相互部品流通や共同教育研修を行うなど、加盟団体同士の密な連携が活発になっている。昨年からの事業部制を敷く中での活動報告では、リビルト事業の来期売上を25%増にすることを掲げ、販売強化を図る方針を示した。

同時に発表したグループ間の2014年の相互流通実績額は8.81%増の約23億7千万となり、発足以来8年連続で前年実績を上回った。強化方針を打ち出したリビルト事業では新品部品との組み合わせや新品部品商との連携強化を図り目標達成を目指す。

事業報告ではこのほか、教育研修、物流、広報などそれぞれの事業での活動状況や今後の展開を示した。教育研

修分野では、昨年2回実施した「自動車技術企業研修会」を今年も開催する。3月に1回目を開催

する予定で、内容はハイブリッド車の取扱法などを予定するが、高い技術対応力を身に付けるため、幅広い講座内容を検討する。広報活動では、メディア媒体への広告掲載やホームページでの啓発、同アライアンスの情報誌発行を引き続き行う。

部品流通事業では、定期的に行っている「自動車リサイクル部品ロジスティック研究会」（ロジ研）での議論内容などを、会員単位で共有化することを進める。

BESTでは、代表者会議の継続的開催や団体交渉事案の具現化に取り組んでいく。また女性社員の力を活用する取り組みとして実施している「BEST女子会」を今年も行う方針で、組織全体の力を強める方針だ。

毎日自動車新聞2015年2月5日(木)

## リサイクルの現状と課題

—上—

毎日自動車新聞社は1月29日、東京都内で自動車リサイクル事業について議論する「第1回自動車リサイク

### CO2削減数値(SPLシステム)

リユースパーツ使用による  
CO2削減効果参考値  
平成27年1月

# 3,148t

※一般、中・大型含む車を修理する際、新品部品を使用して修理する場合に出るCO2排出量とリサイクル部品を使用して修理する場合のCO2排出量の差がCO2削減数値になります。

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターがLCA(ライフ・サイクル・アセスメント)の考え方にに基づき共同開発した「グリーンポイントシステム」より参照。

ル・サミット」を開催した。サミットでは、自動車リサイクル関連団体16団体が現在の業界の課題や取り組みをそれぞれが示し、今後の業界の方向性について議論を交わした。サミットの最後には「サミット宣言」を採択し、日本の「循環型社会形成」に一致団結して取り組むことで合意した。リサイクル団体代表が一堂に会し議論を行う初めての試みとなった今回のサミット。グローバル化や他業界へのアピールなど業界外への対応と、リサイクル部品普及拡大に向けた取り組み、課題という業界内での現状への言及が中心となった。自動車リサイクル法施行10年目を迎え、業界は岐路に立ちつ

リビルトエンジン  
極品エンジン  
株式会社リンクスジャパン [www.links-jpn.com](http://www.links-jpn.com)

「ありがとう」を  
たくさんもらえる会社へ  
JARA  
<http://www.jara.co.jp/>

吉岡グループ  
低価格  
高品質  
豊富な在庫  
資源循環型社会を実現へ  
資源循環型社会を実現へ  
株式会社吉岡商店 有限会社セカンドパーツ  
〒649-6222 和歌山県新市市岡田575-1 〒649-6222 和歌山県新市市岡田695  
Tel:07-3662-2229 Fax:07-3662-1518 Tel:07-3661-5311 Fax:07-3661-5314  
Mail:info@yoshiokashoten.co.jp

## インタビュー 経済産業省自動車課 自動車リサイクル 室長 金澤 信氏

経済産業省は、自動車リサイクル部品の適正な市場拡大を目指す取り組みを、業界と協力しながら展開している。昨年はリサイクル部品の規格策定に向けた研究会で一定の方向をつけ、解体事業者の経営実態調査も取りまとめた。製造産業局自動車課の金澤信自動車リサイクル室長に、リサイクル部品業界の現状と今後を聞いた。

### —自動車リサイクルの現状は

「自動車リサイクル法が施行されて約10年になるが、関係者の皆様のご努力していただいた結果、『日本モデル』としてかなり精度の高いものになっている。また、制度として透明性が高く、見える化にお答えできる形で対応していることから一定の評価をいただいていると思う。一方で新しい課題も出てきているのも事実だと認識している」

### —自り法見直しの合同会議も議論が進んできた

「まだ（合同会議のまとめは）これからの議論ではあるが、3Rの推進・質の向上に向けて委員、当事者の方々には問題意識を持って参加していただいている。我々も精緻な解体や資源の有効活用という観点から、さらに改善

すべき点はあると思う。制度の安定的・効率的な運用に向けても自治体や自動車リサイクル促進センターを含めて、今後の議論を進めていきたい」

### —HVやFCVなど次世代車への対応は

「次世代車の対応については、FCVに代表されるような新しい素材も採用されており、課題として出てきている。どういう段階でどういうことをしていくべきかを、審議会でもしっかりと議論していく必要がある。FCVについては具体的に普及する前段階、普及段階にどう対応していくかをメーカーも含めて共有化を図る必要があった。また自治体だけでなく関係省庁も巻き込みながらということになると思う。リサイクル業界でも自動車リサイクル士制度があるので、教育の質を高め、きちんとした事業者が業界に対応していただくことは、我々もコンタクトをとりやすくなることにつながるだろう」

### —リサイクル部品の規格作りの研究会での議論がまとまった

「昨年8月に研究会の中間報告はまとまった。現在は業界の自主取り組みとして、我々は側面支援をさせていただいている。なかなか前例があるものではないので、どうかたちにしていくかと考えると、通常の新部品と違って難しい点もある。我々としても可能な限り応援していきたい。リサイクル部品の利用促進として、ユーザーへの情報提供という側面もあるが、よ

り安心・安全につながるという意味で重要な役割を担うと考えている」

### —団体、個社で海外への進出が目立ってきた

「これまでも何度か特定の国から問い合わせがあり、協力したり紹介を行ってきた。業界の方たちはそれとは別に、中国や中東への投資、海外規格策定などを展開し、意欲的にさまざまなステージで動き出している。我々経済産業省としても日本車が普及しているASEANで、リサイクルに関する課題などの情報交換を行い、調査を実施したいと考えている。ASEAN内では法整備が進みつつある国も出てきた。相手の国が主体的だが、日本など先進国の経験が役に立つ部分があると思う。市場の整備が進み、日本の事業者が海外で自動車リサイクル事業をすることになれば結果的に全体のリサイクルの質の向上にもつながる。業界としても、（海外に対し）より関心を持っていく時期になってきたのかなと思う」

### —業界課題は

「以前から取り組んでいることではあるが、事業者間にとどまらないエンドユーザーへの情報提供をさらに進めていきたい。引取事業者関係でもきちっと情報提供することは工夫できる点があると思う。また、リサイクルの質の向上は今後の審議会でも議論になると思う。

日刊自動車新聞 2015年1月15日（木）

### —前ページの続き

つある。議論に先立ち、基調講演として経済産業省製造産業局自動車課自動車リサイクル室の金澤信室長と環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室の庄子真憲室長が政府としての取り組みと業界の現状認識について述べた。

金澤室長はこれまでの自動車リサイクル事業を振り返り「自動車産業は日本のリーディング産業である」とした上で、「（リサイクル事業は）これまでスポットライトがあたってきたかというところはまだまだということがある」と指摘。「個社・グループの取り組みは重要だが、業界が一体となって取り組む課題が多くある」と強調した。

庄子室長は環境省としてのリサイクルの取り組みについて紹介し、「リユース・リデュースの推進、リサイクルの高度化、（リサイクルの）量から

質へ」の3点を重点的に推進していることを示した。

サミットの議論は、「業界での3Rのさらなる促進」「自動車リサイクル部品の普及拡大に向けて」「グローバル化が進む自動車リサイクル事業」という三つの大きなテーマについて団体代表がそれぞれ意見を述べた。

現在、業界を悩ますのが使用済み車の入庫確保だ。「無理な値段を付けてまで、オートオークション（AA）で車両を買わなければいけない状況がある」（NGP日本自動車リサイクル事業協同組合・長谷川利彦理事長）、「部品取り車両の不足はこれから顕著になり、さらに厳しくなる」（ビッグウェーブ・服部厚司社長）といった、いわゆる「タマ不足」を懸念する声が団体代表からは多く上がった。

使用済み車の確保は近年、リサイクル事業者にとって悩みの種となっている。日本ELVリサイクル機構の河村

二四夫代表理事は「14年を超える低年式な車両が中古車として多く輸出されている。業界がまわるためにも一定の歯止めは必要ではないか」と指摘する。抜本的な解決策はまだ見いだせないが、「自り法の中で使用済み車のガイドラインをつくったが、有名無実化している。自助努力しかない」（TCRグループ・大橋岳彦会長）、「高い値段でAAの車両を買い、高い単価で部品を売る。そういった武士道のような気構えが必要ではないか」（日本パーツ協会・早川一三会長）と現状を受け入れての企業努力を行うべきと言う意見も少なからず上がる。避けては通れない問題だけに、各団体が正面から取り組むことが重要となる。

日刊自動車新聞 2015年2月5日（木）



**KOBELCO**

低燃費のコベルコ!  
低炭素社会の実現へ

## コベルコが提案する 新しい考え方

1979年世界初の自動車解体機の発売以来、  
30年以上にわたって金属リサイクル分野で常にリードし、  
環境負荷の低減に貢献してきました。

### マルチ解体機

使用済み自動車の解体以外にも廃家電などの金属製機器の解体および  
さまざまな複合廃棄物の解体・分別作業が可能です。



SK135SRD

SK210D

コベルコ建機株式会社  
<http://www.kobelco-kenki.co.jp/>

**KOBELCO**

We Save You Fuel  
Reducing a Carbon Society

## New ideas come from KOBELCO

Since launching the world's first car-dismantling machine in 1979,  
KOBELCO has continued to take the lead in the metals recycling industry.  
For over 30 years, we have contributed to reducing environmental impact.

### Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life cars,  
Multi-Dismantling Machine can break down  
various metal products and equipment  
such as used household appliances and  
can separate and sort various composite  
material wastes.

### Car-Dismantling Machine

Car-Dismantling Machine efficiently  
separates and sorts raw materials in  
end-of-life cars and is able to recover  
rare earth metals.



SK210D



SK210D

**KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY EUROPE B.V.**  
<http://www.kobelco-europe.com/>  
**KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY U.S.A. INC.**  
<http://www.kobelco-usa.com/>

**KOBELCO**

神鋼 无坚不摧!  
您满意的选择

## 新构想源于神钢

1979年世界第一台汽车拆除机发售以来，  
30多年来一直引领金属再生领域，  
在降低对环境压力方面功不可没。

### 多功能拆除机

不仅可以拆除不再使用的汽车，还可以  
拆除废家电等金属制机器以及各种复合  
废弃物品的拆除、分类作业。

### 汽车拆除机

可快速进行报废汽车内素材的分类作业，  
能够回收稀金属资源。



SK135SR

SK200

成都神鋼工程机械(集团)有限公司  
<http://www.kobelco-jianji.com/>

**KOBELCO**

We Save You Fuel  
Reducing a Carbon Society

## 새로운 발상은 KOBELCO에서

1979년 세계 최초로 자동차 해체기를 출시한 이래,  
30여 년에 걸쳐 금속 재활용 분야에서 항상 앞서서서  
환경 부하 저감에 공헌해 왔습니다.

### 멀티 해체기


용도 폐기된 자동차의 해체 외에도 폐가전제품 등 금속제 기기의  
해체 및 다양한 복합 폐기물의 해체·분리작업이 가능합니다.



SK135SR



SK200

 (주)삼정건설기계  
<http://www.samjung-kenki.co.kr/>



Go Go Japan Industry (M) Sdn Bhd

Lot 15, Jalan 4/32A,

Mukim Batu Industrial Area, 6½ Mile Off Jalan Kepong

52000 Kuala Lumpur, Malaysia.

Tel : 03-62415258 Fax : 03-62415285



高品質  
High Quality  
品质高超



低価格  
Reasonable Price  
价格合理



迅速なデリバリー  
Speedy Delivery  
交货迅速



優れたサービス  
Excellent Service  
服务卓越



For Enquiry, Please Contact / 询问洽购, 请联络 : 03-6241 5258

< Parts Supplying Fully Back Up by HIDA TEC Japan >

Tel : 025-539-1515

Email: narc-2001@helen.ocn.ne.jp



JOUETSU Branch

Tel : 025-274-1516

Email: narc-2004@ace.ocn.ne.jp



KAETSU Branch